

令和 8 年度 東京都立墨田川高等学校 学校経営計画

1 目指す学校

(1) 教育目標

- 知性 — 明澄な知性
- 創造 — 創造への努力
- 自主 — 自他の敬愛と自律の精神

(2) 教育目標を達成するための基本方針

本校は、東京府立第七中学校として設立以来、令和 4 年 1 0 月に創立百周年を迎えた歴史ある伝統校である。新たな社会を切り拓くリーダーを育成するため、教科の学習により得るものと特別活動で得るものを一体とする「文武不岐」の精神を掲げ、高潔な人格を育て、府立七中・新制都立七高・都立墨田川高等学校と継承されてきた「全人教育」の伝統を踏まえた教育活動を、さらに充実・発展させ新たな飛躍を目指していく。

また、本校は進学重視型単位制高校及び進学指導推進校として、国公立大学や難関私立大学進学の実現に向けて、新たな学びに取り組む学校である。

(3) スクール・ミッション

明澄な知性、創造への努力、自他の敬愛と自律の精神を教育目標とし、生徒自身による「学びのサイクル」の実践で、高い学力を身に付け、進路希望の実現を図り、様々な教育活動を通して創造意欲・協働意識を高め、新しい社会を切り拓くリーダーにふさわしい能力を備えた生徒を育成します。

(4) スクール・ミッションに基づき校長が定めたスクール・ポリシー

ア グラデュエーション・ポリシー

- 自ら課題を発見し、論理的な思考を基に自らの人生を主体的かつ計画的に切り拓いていくことのできる資質・能力を身に付けます。
- 人々の多様性を認識し、互いに尊重することで、より良い社会的成果を生み出している資質・能力を身に付けます。

イ カリキュラム・ポリシー

- 必要な情報を整理・活用し、課題の本質を捉えて、自己の学びのサイクルを実践し、主体的かつ論理的に思考することができる能力を育てます。
- 自他の特性を活かし、困難な状況においても、課題解決に向けて解決策を創造・提案し、他者との協働を通して実現を図ることができる能力を育てます。

ウ アドミッション・ポリシー

- 学びへの強い興味・関心があり、目標に向かい、あきらめずに継続的に努力できる生徒を求めます。
- これまで授業以外の教育活動にも意欲的に取り組み、本校の教育目標を理解し、これからも意欲的に取り組むことができる生徒を求めます。

2 中期的目標とその達成に向けた方策

(1) 伝統の継承と発展

- ▼ 本校の教育目標を踏まえ、「全人教育」とその実現に向けた「文武不岐」を掲げていく。
- ア 学校行事等において主体的・協働的に活動できる生徒を育成するとともに、生徒の自主的な活動を通して、リーダーにふさわしい指導力とコミュニケーション能力を培う。
- イ 進学を目指す公立高校として、「部活動に関する総合的なガイドライン」に基づき、活動方針と活動計画を明確に定め、学習と学校行事・部活動を両立できる生徒を育成する。

(2) 生徒の希望する大学進学を実現するための学力の伸長【学習指導・国際教育】

- ア 進学重視型単位制高校の特長である習熟度別授業、少人数指導及び多様な選択科目等を生かした学習指導を通して、生徒一人一人の学力を各教科が責任をもって高めていく。
- イ 授業を基本とした予習→授業→復習の「学習サイクル」に「自発的学習」を加えた「学びのサイクル」を定着させ、大学入学共通テストに対応できる学力の獲得を目指す。
- ウ 放課後や長期休業中を活用した講習・補講等を計画的に実施し、大学入学共通テストの得点率を高める学習指導の充実を図る。
- エ 英語科の授業における英語4技能伸長及び英語検定全員受験等を活用するとともに、海外姉妹校交流や海外研修旅行などの国際教育プログラムを推進していく。
- オ 「2050東京戦略」及び「東京都学校教育情報化推進計画」等に基づき、情報活用能力を育成するために、授業や進路指導における一人1台端末を効果的に活用していく。

(3) 進路指導の充実に向けたキャリア探究と進学指導の効果的な連携【進路指導・総合探究】

- ア 進路指導部、教科主任及び各年次との連携を強化し、進学指導方法や内容の統一性を高めるなど進路指導部を中心とした組織的な進学指導マネジメントシステムを構築する。
- イ 入試結果や定期考査、外部模試等の分析と定点観測を行うとともに、その結果を学年集会や進路面談等を通して、第一志望を最後まで諦めない指導を行うことで進路実現を図る。
- ウ 生徒が充実した探究活動を行えるよう、千葉大学をはじめとする外部機関との連携や外部人材を積極的に活用した「総合的な探究の時間」を充実発展させていく。
- エ 調査研究や専門書購読等の学問的探究の方法を身に付け、調査研究能力や情報収集能力、論文作成能力、プレゼンテーション能力等を高めるために、図書館の積極的な活用を図る。

(4) 健康・安全教育の充実による生徒の人間性の伸長

- ア 学校の教育活動全体を通して人権意識を高め、自分を大切に思う心、他者を大切に思う心を育むとともに、いじめや暴力等を断固許さない指導を徹底していく。
- イ 生徒の基本的な生活習慣を確立させるとともに、心身の自己管理能力を高めるための健康教育を推進し、スクールカウンセラーや関係機関等との連携や相談機能の充実を図る。
- ウ 大規模災害に対応するために、避難誘導等の体制を準備するとともに、関係諸機関と連携し、生徒の安全確保を最優先した防災対策を推進する。

(5) 積極的な生徒募集活動の展開

- ア 百年の歴史と伝統を有する進学重視型単位制高校及び進学指導推進校としての特長を中学生・保護者及び地域に発信し、本校を第一志望とする意欲ある優秀な生徒を獲得する。
- イ 志望動向や入試情報の分析、中学生とその保護者の意見等を的確に受け止め、効果的で戦略的な生徒募集活動を展開する。

(6) 教職員の協働による効率的な業務遂行とライフ・ワーク・バランスの実現

- ア 業務の精選と協働により効率的な校務運営を実現するとともに、主任級教職員による進行管理を徹底させ一部の教職員に業務が偏らないよう努める。
- イ サービス事故や体罰、個人情報等の紛失等の事故の発生により、生徒、保護者、都民の信頼を損なうことのないよう、サービス事故防止研修を実施し、サービス事故と体罰の根絶に努める。
- エ 学校運営連絡協議会、美汀会（PTA）、墨水会（同窓会）、関係機関、外部有識者、地域町内会等による教育活動評価を活用し、学校経営や教育活動の検証・改善に努める。
- オ 自律経営推進予算を有効に活用するとともに、東部学校経営支援センター支所と連携し、施設・設備の整備や教育環境の改善を図る。

3 今年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策【数値目標】

(1) 学習指導

- ア 生徒の「学びのサイクル」の定着を図り、授業理解度と満足度を向上させる。
- イ 生徒の学力向上のため、外部模試の結果や授業評価アンケート等を分析し、各教科の3年間の指導計画の見直しや指導方法の改善を図る。
- ウ 校内研修会や教科会、科目担当者間の連携を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた組織的な授業力の向上を図る。
- エ ICTを活用した教育を一層推進するとともに、より効果的な活用方法を検討していく。
- オ 生徒の知的探究意欲向上のため、千葉大学との連携による大学訪問や模擬講義等を実施するなど「総合的な探究の時間」を充実発展させることで「総合型選抜」の充実を図る。
- カ 英語4技能伸長に向け、都教育委員会の事業を活用して英検全員受験を実施し、資格取得に向けた指導を充実させるとともに、大使館訪問や留学生との交流会、シンガポールにおける海外姉妹校交流などの国際教育プログラムを積極的に推進していく。

▼ 数値目標（アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合）

項 目	6年度実績	7年度実績	8年度目標
学校評価アンケート①で「墨田川の授業は、進度やレベルが生徒に合っていて学力向上につながるの満足している」とする生徒の割合	72.6%	72.8%	80%以上
学校評価アンケート②で「墨田川の授業は、進学や受験に役立つ内容となっているものが多い」とする生徒の割合	78.0%	81.1%	80%以上
学校評価アンケート④で「予習→授業→復習の『学習サイクル』に『自発的学習』を加えた『学びのサイクル』が定着している」とする生徒の割合	37.8%	44.5%	50%以上
大学入学共通テストの総合得点で7割以上得点した3年次生の人数	54名	62名	60名以上

(2) 進路指導

- ア 新学部・学科、入試方式の変更等の進学や進路指導に関する情報を「進路だより」等で提供するとともに、大学受験に向かう環境作りと生徒に受験生としての自覚をもたせる。
- イ 生徒の学力を大学入学共通テストの得点率70%を獲得する水準に高めるため、5教科

及び情報科の教員は、大学入試問題の分析を行い組織的に教科指導及び進学指導に生かす。
 ウ 国公立大学を志望する生徒に対しての情報提供を充実させるとともに、面談週間を効果的に活用するなどして、第一志望を進路実現させる指導を徹底する。

エ 長期休業中の講習や校内予備校においては、講義内容を精選するとともに、夏季休業中の開設講座は、生徒が休業中の計画を立てやすいよう5月中に講座を提示する。

オ 2年次の「プレ第一志望宣言」などを通じ、1月～3月を受験0学期として、早期に生徒が志望大学・学部・学科等を明確に意識した受験準備に当たれるよう指導する。

▼ **数値目標** (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度実績	8年度目標
国公立大学（大学校含む）現役合格者数	19名	20名	30名以上
難関私立大学（早慶上理）現役合格者延べ数	25名	24名	30名以上
私立大学（GMARCH）現役合格者延べ数	101名	72名	100名以上
学校評価アンケート⑦で「墨田川では、進路を考える際に必要な情報を生徒や保護者に適切に提供している」とする生徒の割合	79.0%	80.2%	85%以上
学校評価アンケート⑥で「墨田川では、探究活動などで生徒が将来の自分の生き方について主体的に考えるよう指導している」とする生徒の割合	67.3%	73.4%	70%以上
学校評価アンケート⑮で「墨田川は、国際教育の推進に力を入れている」とする生徒の割合	58.1%	69.1%	60%以上

(3) **生活指導・特別活動**

ア 生徒会や委員会活動において、生徒の自主性、自律性、規則性を高めるために計画的な指導を行うとともに、ホームルーム活動や学校行事を通して学校生活の満足度を高める。

イ 学校のルールを順守した節度ある生活を送らせるよう、挨拶や服装等の指導を継続し、時間を大切にされた品位ある学校生活を確立するよう全教職員による組織的な指導を行う。

ウ 「部活動に関する総合的なガイドライン」を遵守し、顧問教諭と部活動指導員及び生活指導部が連携しながら部活動と学習とのバランスを保つよう指導する。

エ 学校行事や部活動の大会終了後、生活指導部と学年担任団が中心となり、学習環境を整え気持ちの切り替えを促すなど、生徒がメリハリのある学校生活を送れるよう指導する。

▼ **数値目標** (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度実績	8年度目標
学校評価アンケート⑳で「墨田川での学校生活は充実している」とする生徒の割合	86.2%	86.4%	85%以上
学校評価アンケート⑭で「墨田川では、学校行事や生徒会、部活動等で、生徒による主体的・自発的な活動が行われている」とする生徒の割合	86.4%	87.8%	85%以上

学校評価アンケート⑨で「墨田川では、服装、挨拶、遅刻の防止、通学時のマナー等の生活指導が徹底されている」とする生徒の割合	77.3%	85.9%	85%以上
学校評価アンケート⑩で「墨田川の生活指導は、生徒の理解や納得が得られている」とする生徒の割合	52.3%	52.3%	75%以上
学校評価アンケート⑫で「墨田川では、体育祭や七高祭などの学校行事が活発で充実している」とする生徒の割合	91.5%	91.4%	85%以上
学校評価アンケート⑬で「墨田川では、部活動が活発で充実している」とする生徒の割合	84.6%	87.9%	85%以上

(4) 健康・安全教育指導

- ア 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」を参考にした生徒の体力向上及び健康の保持増進のために、保健体育科の授業や部活動において、生徒の体力向上に取り組む。
- イ 「命の講話」などの機会を通して、命の大切さについて考えさせるとともに、スクールカウンセラーや外部機関と連携し、いつでも悩みを相談できる体制を整える。
- ウ 体罰根絶といじめの総合対策に基づいた生徒アンケートを実施し、結果の適切な分析を行うとともに、必要な場合には迅速・適切な対応を行う。
- エ 特別な配慮を必要とする生徒を適切に支援するために、特別支援委員会やケース会議を年間通して計画的に実施し、生徒の状況の把握など情報の共有化を図る。
- オ 食物アレルギーや食生活の自己管理を通じた健康の保持増進を図る。特に、宿泊を伴う学校行事に際しては、食物アレルギーのある生徒情報の共有を徹底する。
- カ 警察署と連携したセーフティ教室や消防署と連携した避難訓練等の体験活動を通して、安全や災害に対する意識を高める。

▼ 数値目標 (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度実績	8年度目標
学校評価アンケート⑪で「墨田川では、教員やスクールカウンセラーなど悩みを相談できる相手や機会が適切に備わっている」とする生徒の割合	72.5%	77.2%	75%以上

(5) 生徒募集・広報活動

- ア 総務部の企画による全校体制での組織的・計画的・戦略的な広報・募集対策を推進する。
- イ 学校見学会、学校説明会等は、「生徒で魅せる」企画を充実するとともに、自校作成問題対策会等においては、自校作成問題の出題意図や難易度、試験対策を分かりやすく伝える。
- ウ 志望者の多い地域及び墨田区の中学校、学習塾を対象に本校の魅力を効果的に伝達する。
- エ 本校ホームページにおいて、きめ細かく情報を提供することで魅力を積極的に発信する。

▼ 数値目標 (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合)

項 目	6年度実績	7年度実績	8年度目標
東京都中学校長会進路対策委員会による志望予定(第1志望)調査の志望者数	284名	284名	360名

推薦に基づく選抜応募倍率	1.81倍	2.41倍	3.00倍
学力検査に基づく選抜最終応募倍率	1.10倍	1.17倍	1.30倍
学校見学会、学校説明会、高校入試ガイダンス、自校問題対策会、夏季休業中の学校見学会、放課後の学校説明会、塾対象説明会での来校中学生・保護者・教員等の参加組数	3478組	3656組	3800組
学校評価アンケート⑨で「墨田川高校の公式ホームページは充実している」とする生徒の割合	66.2%	70.2%	85%以上

(6) 学校組織運営

- ア 校務分掌における役割分担の明確化と複数担当制の推進により、責任の所在を明確にした校務運営を実現するとともに、業務内容の精選とマニュアル化を進め効率化を図る。
- イ 学校運営連絡協議会での意見や学校評価アンケートの結果を校務改善に有効に活用し、校務におけるPDCAサイクルを機能させる。
- ウ 分掌等の支援や副担任機能の強化による年次担任業務の軽減など、相互に協力し合う職場風土の醸成に努める。
- エ 「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員のライフ・ワーク・バランスの実現に向けた取組を推進する。
- オ 情報セキュリティに対する職員の意識向上、教育公務員としてのサービスの厳正について指導を徹底する。サービス事故防止研修を年間3回以上実施し、体罰やサービス事故の根絶に努める。
- カ 効率的に予算を執行するとともに、職員のコスト意識を高め、ペーパーレス化を推進する。
- キ 令和8年度以降に予定されている空調施設改修工事やトイレ改修工事に伴い、教育活動が維持できよう、必要な予算措置や修繕等の要望を行う。

▼ 数値目標 (アンケートの数値は「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した生徒・教職員・保護者の割合)

項目	6年度実績	7年度実績	8年度目標
学校評価アンケート⑰で「墨田川は、教室、特別教室、体育施設、図書館、自習スペース等の学習環境が整っている」とする生徒の割合	84.1%	85.5%	85%以上
学校評価アンケート⑳で「計画的な仕事の進め方により業務の効率化を図り、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組んでいる」とする教職員の割合	47.7%	55.2%	75%以上
学校評価アンケート㉑で「墨田川の教員生活は充実している」とする教職員の割合	58.5%	79.1%	75%以上

以上